

「専修学校フォーラム2010」 参加者アンケート結果

(平成22年2月23日、24日)

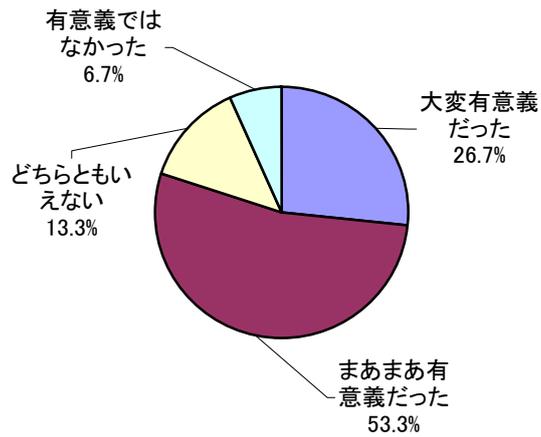
- 参加者数: 187名
- 回答者数: 19名
- 回答率: 10%

全国専門学校情報教育協会

問1. 全体会について

1. 文部科学省

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	4	26.7%
まあまあ有意義だった	8	53.3%
どちらともいえない	2	13.3%
有意義ではなかった	1	6.7%
計	15	100.0%

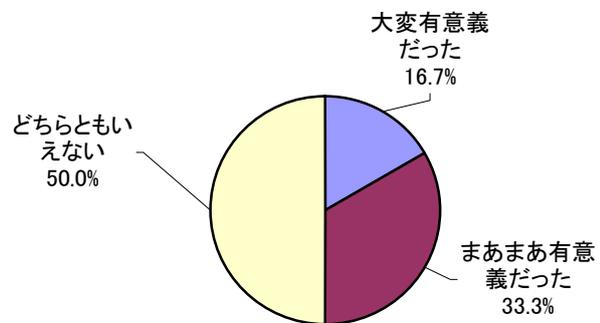


評価の理由:

- ・文科省の立場からの施策説明と予算説明がある程度理解できた。
- ・資料がよくまとめてあり参考になります。
- ・現状がわかった。
- ・方向性がわかってよかった
- ・開会の挨拶のようなもので内容のある話ではない
- ・資料が大変参考になります。
- ・専門学校の後について方向性が少し伺えた。と感じた。
- ・専修学校を取り巻く環境を確認できた。

2. 経済産業省

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	2	14.3%
まあまあ有意義だった	4	28.6%
どちらともいえない	6	42.9%
	2	14.3%
計	14	100.0%



評価の理由:

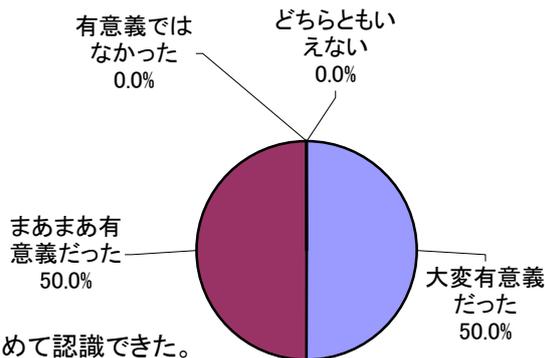
- ・経産省の施策、検定試験などの説明から、人材育成の方向性を知ることができた。
- ・よくわからない
- ・経済産業省関係での専門学校に関係のある予算があつたら(?)紹介して欲しかった。特に中小企業関係。
- ・上記同様。大学対応の話が多かった
- ・情報処理技術者試験の現状と企業での活用状況
- ・高度IT人材養成や今後の様々な施策について参考になった。

5. 専門学校の企業提携の現状と今後 ～一条校化問題を踏まえた企業提携のあり方を探る～

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	7	50.0%
まあまあ有意義だった	7	50.0%
どちらともいえない	0	0.0%
有意義ではなかった	0	0.0%
計	14	100.0%

評価の理由:

- ・大変考えさせられる内容であった。
- ・芦田先生の鋭い切口で分析していたところ
- ・第三者評価を受ける上での体制整備に役立った
- ・企業提携に関して専門学校の現状、どのようにすべきかを改めて認識できた。
- ・専門学校が抱えている問題の解決が急務であると感じた。

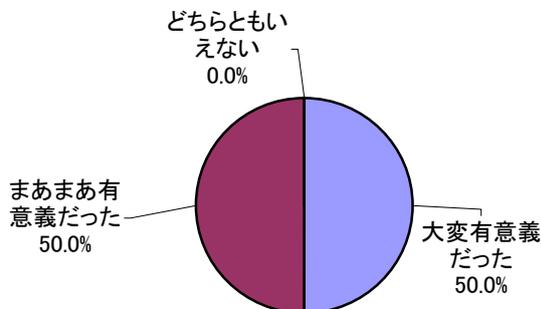


22. 中央教育審議会「キャリア教育・職業教育特別部会」における一条校化議論について

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	8	50.0%
まあまあ有意義だった	8	50.0%
どちらともいえない	0	0.0%
計	16	100.0%

評価の理由:

- ・特別部会の経過報告について考える機会となった。
- ・資料内の引用部分と意見の部分が分かりにくかった。
- ・大変考えさせられる内容であった。
- ・専門学校のあるべき姿を考える上で参考。
- ・中教審の一条校化議論を分かりやすくまとめられている。
- ・あまり内容が豊富で忙しすぎた。もっと時間を取ってほしい。
- ・専門学校の立場、現状の問題点を知ることができた。
- ・真の専門学校が置かれる状況がわかりました。
- ・どうすべきかと悩みますが、自己が取るべき姿勢についてプラスになりました。
- ・芦田先生が中教審の報告を読み解いていただくことにより、動向の理解と今後の検討材料が見えるようになった。

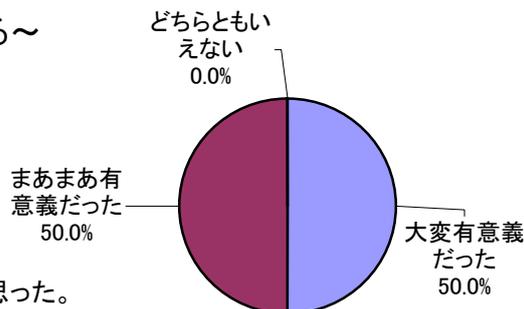


23. パネルディスカッション～職業教育の可能性を語る～

5段階評価	回答数	%
大変有意義だった	6	37.5%
まあまあ有意義だった	6	37.5%
どちらともいえない	1	6.3%
計	13	81.3%

評価の理由:

- ・職業教育の各お話は、参考になった。まとめがやや不十分と思った。
- ・内容が濃かった。もっとゆっくり聞きたかった。
- ・多方面から職業教育についての意見を聞くことができた。
- ・グローバルな観点から職学をつかみ取ることができた。
- ・これからの専門学校が果たすべき事(役割)が見えた気がした。
- ・光、希望が持てました。また日々努力する必要があると見直せました。
- ・パネルディスカッションでは是非平田先生にもパネラーとしてご発言頂き、次回は是非、ほかの(プロの?)コーディネーターの方にファミリーレートしていただいて…と希望します。
- ・自らが職業教育を考える刺激となった。
- ・職業教育の位置付けが理解できた。

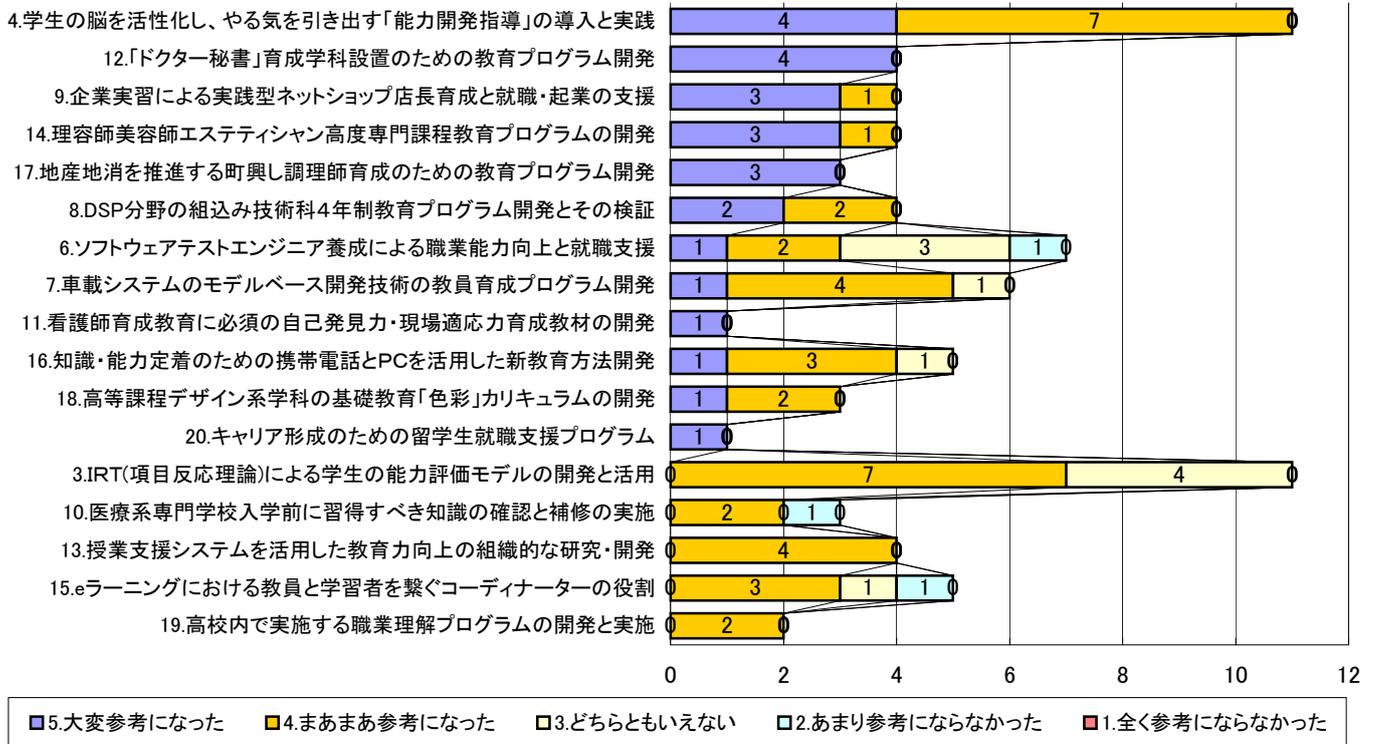


問2. 文部科学省委託事業成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(「大変参考になった」をキーに並べ替え)

自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表(「大変参考になった」をキーに並べ替え)



(「大変参考になった」をキーに並べ替え)

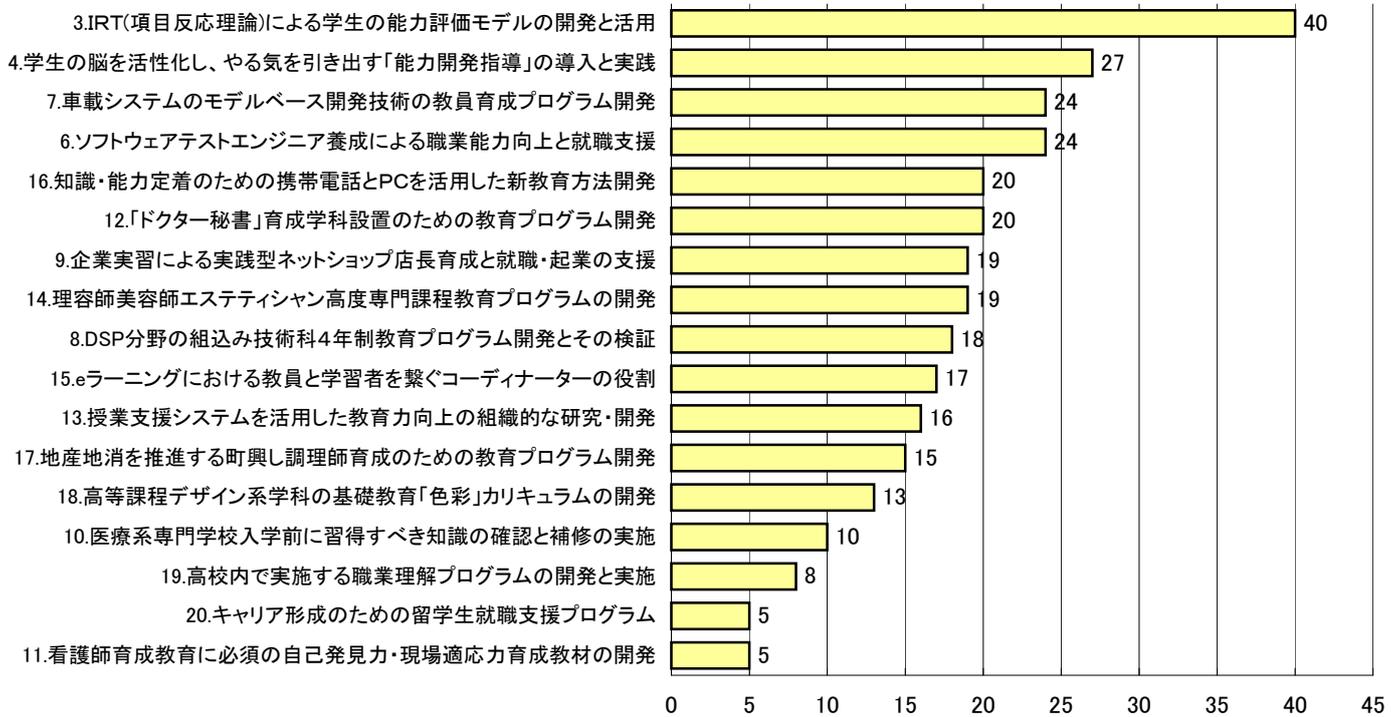
委託事業名	5. 大変参考になった	4. まあまあ参考になった	3. どちらともいえない	2. あまり参考にならなかった	1. 全く参考にならなかった
4. 学生の脳を活性化し、やる気を引き出す「能力開発指導」の導入と実践	4	7	0	0	0
12. 「ドクター秘書」育成学科設置のための教育プログラム開発	4	0	0	0	0
9. 企業実習による実践型ネットショップ店長育成と就職・起業の支援	3	1	0	0	0
14. 理容師美容師エステティシャン高度専門課程教育プログラムの開発	3	1	0	0	0
17. 地産地消を推進する町興し調理師育成のための教育プログラム開発	3	0	0	0	0
8. DSP分野の組込み技術科4年制教育プログラム開発とその検証	2	2	0	0	0
6. ソフトウェアテストエンジニア養成による職業能力向上と就職支援	1	2	3	1	0
7. 車載システムのモデルベース開発技術の教員育成プログラム開発	1	4	1	0	0
11. 看護師育成教育に必須の自己発見力・現場適応力育成教材の開発	1	0	0	0	0
16. 知識・能力定着のための携帯電話とPCを活用した新教育方法開発	1	3	1	0	0
18. 高等課程デザイン系学科の基礎教育「色彩」カリキュラムの開発	1	2	0	0	0
20. キャリア形成のための留学生就職支援プログラム	1	0	0	0	0
3. IRT(項目反応理論)による学生の能力評価モデルの開発と活用	0	7	4	0	0
10. 医療系専門学校入学前に習得すべき知識の確認と補修の実施	0	2	0	1	0
13. 授業支援システムを活用した教育力向上の組織的な研究・開発	0	4	0	0	0
15. eラーニングにおける教員と学習者を繋ぐコーディネーターの役割	0	3	1	1	0
19. 高校内で実施する職業理解プログラムの開発と実施	0	2	0	0	0

問2. 文部科学省委託事業成果報告発表について

①自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表

(順位をポイント化した総合順位)

自身のスキルアップ、今後の学校運営の参考になった成果発表(順位をポイント化した総合順位)



(順位をポイント化した総合順位)

※ポイントとは→5.大変参考になった=5 4.まあまあ参考になった=4 3.どちらともいえない=3
2.あまり参考にならなかった=2 1.全く参考にならなかった=1

委託事業名	5.大変参考になった	4.まあまあ参考になった	3.どちらともいえない	2.あまり参考にならなかった	1.全く参考にならなかった	総合ポイント	総合順位
	(5p)	(4p)	(3p)	(2p)	(1p)		
3.IRT(項目反応理論)による学生の能力評価モデルの開発と活用	0	28	12	0	0	40	2
4.学生の脳を活性化し、やる気を引き出す「能力開発指導」の導入と実践	20	7	0	0	0	27	10
7.車載システムのモデルベース開発技術の教員育成プログラム開発	5	16	3	0	0	24	5
6.ソフトウェアテストエンジニア養成による職業能力向上と就職支援	5	8	9	2	0	24	6
16.知識・能力定着のための携帯電話とPCを活用した新教育方法開発	5	12	3	0	0	20	14
12.「ドクター秘書」育成学科設置のための教育プログラム開発	20	0	0	0	0	20	17
9.企業実習による実践型ネットショップ店長育成と就職・起業の支援	15	4	0	0	0	19	7
14.理容師美容師エステティシャン高度専門課程教育プログラムの開発	15	4	0	0	0	19	12
8.DSP分野の組込み技術科4年制教育プログラム開発とその検証	10	8	0	0	0	18	7
15.eラーニングにおける教員と学習者を繋ぐコーディネーターの役割	0	12	3	2	0	17	4
13.授業支援システムを活用した教育力向上の組織的な研究・開発	0	16	0	0	0	16	13
17.地産地消を推進する町興し調理師育成のための教育プログラム開発	15	0	0	0	0	15	16
18.高等課程デザイン系学科の基礎教育「色彩」カリキュラムの開発	5	8	0	0	0	13	15
10.医療系専門学校入学前に習得すべき知識の確認と補修の実施	0	8	0	2	0	10	9
19.高校内で実施する職業理解プログラムの開発と実施	0	8	0	0	0	8	1
20.キャリア形成のための留学生就職支援プログラム	5	0	0	0	0	5	3
11.看護師育成教育に必須の自己発見力・現場適応力育成教材の開発	5	0	0	0	0	5	10

②参考になった、印象が強かった理由:

■IRT(項目反応理論)による学生の能力評価モデルの開発と活用

- ・IRTに興味があり、もう少し詳しく知りたい。

■学生の脳を活性化し、やる気を引き出す「能力開発指導」の導入と実践

- ・集中力を高める授業の導入に興味があったから
- ・潜在能力を生かすことができていない学生のモチベーションアップの一つとして考えられる。
- ・授業に取り入れてみたい
- ・授業の中で取り入れていきたいと思った。

■専門学校企業の企業提携の現状と今後 ～一条校化問題を踏まえた企業提携のあり方を探る～

- ・アンケート調査の設問のグレード。内容が第三者評価診断の判断に合致するところ

■車載システムのモデルベース開発 技術の教員育成プログラム開発

- ・MATLABの活用(安価であれば入手して活用したい)

■DSP分野の組込み技術科4制教育プログラム開発とその検証

- ・関係している為
- ・dsPICの応用。安価であり授業に取り入れていきたい。

■企業実習による実践型ネットショップ店長育成と就職・起業の支援

- ・ステップがわかったこと
- ・ヒューマンスキルからネットスキルへの流れ、カリキュラムが参考になった。
- ・一つの取り組みとして参考になった。(自身の専門分野の為)

■医療系専門学校入学前に習得すべき知識の確認と補修の実施

- ・入学前の時期に組み合わせた内容として、参考になりました。

■「ドクター秘書」育成学科設置のための教育プログラム開発

- ・学科設置の参考になったから
- ・本校のカリキュラムに入れることを検討したい。
- ・教材の内容も参考になりました。よく作成されている教材だと思った。

■理容師美容師エステティシャン高度専門課程教育プログラムの開発

- ・独立までの内容が具体的で大変勉強になりました。
- ・キャリア教育を分かりやすく教えている。(夢と現実のマッチング)

■eラーニングにおける教員と学習者を繋ぐコーディネーターの役割

- ・専門学校生の課題である読み書きと自己表現についてのトレーニングツールとして有効であると感じた。
- ・時間管理・能力管理まで徹底してあることが素晴らしい。

■知識・能力定着のための携帯電話とPCを活用した新教育方法開発

- ・一つの取り組みとして参考になった。(自身の専門分野の為)
- ・座学では身に付きにくい内容に対して、一つの手法として参考になった

■地産地消を推進する町興し調理師育成のための教育プログラム開発

- ・様々な角度からアプローチされており勉強になった。
- ・町おこし人材の育成について、組織の人材として内容が素晴らしいと思います。

■高等課程デザイン系学科の基礎教育「色彩」カリキュラムの開発

- ・具体的だった部分

■中央教育審議会「キャリア教育・職業教育特別部会」における一条校化議論について

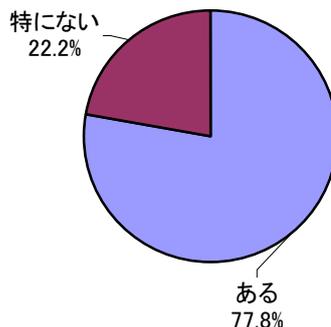
- ・キャリア教育と職業教育を分けなければならない舞台裏を考えた。
- ・内容からいって一番関心の強いテーマのセッションだからもっと時間を取るべきである
- ・専門学校の今後あるべき姿を考える一助になった。

■パネルディスカッション～職業教育の可能性を語る～

- ・100年前に書かれた未来のデューイ「学校と社会」がまさに職学教育で、日本にそれを取り入れることができなかつた点を思い出す。

問3. 今後、文部科学省委託事業等で取り組みたい事業やテーマ

	区分	回答数	%
1	ある	7	77.8%
2	特にない	2	22.2%
	計	9	100.0%



具体的な内容:

- ・情報デザインを授業に組み込んだ事例研究。
- ・産学(企業)連携インターンシップなどによる高度技術者教育のプログラムの開発
- ・地産地消、地元食材を活用した地域貢献など
- ・教材作成。企画→企業とどのようにタイアップしていくか？
- ・観光、食の安全について
- ・教員能力開発。

■ 本会からの情報提供や、連携校の紹介など具体的な希望

- ・診療報酬請求を教えるにあたり、授業で使用している独自の教材があるか。入門用など。
- ・今回の発表会で集計その他資料が配布されなかった。セッションの最終資料を頂戴したい。
- ・一条化問題について、専門学校の高度化をどうすすめるのか考える必要がある。

問4. 来年度の専修学校フォーラムで取り上げてもらいたいテーマや講演者

- ・芦田先生は軸がぶれないでとてもよい。年に一度は是非話を聞きたい。自分を見直すきっかけになる。
- ・1. 専門学校と職業教育(第2弾)・2. 専門学校と技術者教育・3. 効果的教育の実践・紹介
- ・芦田先生の専修学校教育論
- ・もっと中山間地域の活性化につながる取り組みとかがあればいいと思います。(地方での学生の活動など)
- ・インターンシップの取り組み方、協力企業検索など、実施に至るまでの具体方法論(成功例、失敗例など)
- ・技術に関する内容(テーマ)
- ・大学校との共存について。教員実践能力研修
- ・芦田先生！！何度お話を聞いても勉強になります！！
- ・職業教育の高度化(入社2～3年で消費されないスキル)を身につける方法の具体策

問5. 課題となっている事項や悩み、希望する研修テーマなど

- ・カリキュラム編成における企業とのかかわり方。協力企業の開拓。
- ・ロボットを学んだ専門学校生の就職先(学んだことを生かせる)
- ・教員のスキル向上